



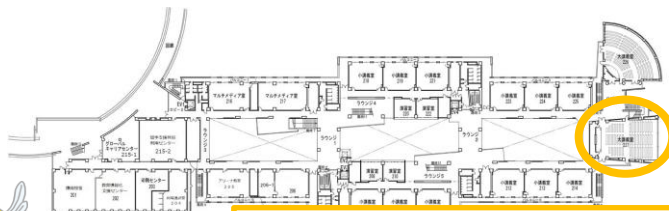
座談会 「コロナ禍を振り返る」 ～林前学長が語る対応の背景～



本年度、新型コロナウイルス感染症の流行拡大から約5年を迎えます。いわゆるコロナ禍において本学の教育・研究環境も様変わりし、オンライン授業への移行、留学（派遣・受入）の断念や延期、部・サークル活動の制限など、さまざまな措置が講じられました。そこで、2020年度に執行部としてコロナ対応に当たった林佳世子前学長、武田千香理事・副学長（当時、社会貢献、学生支援等担当副学長）、青山亨副学長（当時、大学院総合国際学研究科長）に、当時の意思決定の様子や対応の背景などについて振り返る座談会を下記の通り開催します。

※参加申込不要。会場には自由に入出入り可能です。

- ・座談会：林佳世子前学長、武田千香理事・副学長（当時、社会貢献、学生支援等担当副学長）、青山亨副学長（当時、大学院総合国際学研究科長）
- ・司会：篠原琢教授
- ・日時：2025年11月28日（金）
14:20～（4時限目）
- ・場所：227教室（研究講義棟2階）
- ・基礎資料：『教育白書2023』
- ・問合せ：大学文書館
tufsarchives@tufs.ac.jp



会場：研究講義棟2階 227教室